

第43回アビリンピック鳥取大会 製品パッキング 競技課題 A

1. 課題

競技課題1 緩衝材の組立・結束【25セット（5束）／30分】

競技課題2 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包【2梱包（2箱）／30分】

※競技課題1の緩衝材（完成品）は、競技課題2で使用します。完成品が不足の場合は、主催者大会で完成品を準備します。

※競技課題2の中箱・化粧箱身・蓋化粧箱はカットのみの材料となります。部分不要の取り外しが必要です。

2. 実施内容及び実施手順

(1) 競技課題ごとに競技の説明を行います。その後競技を始めます。

(2) 各競技は、詳細説明図のとおりです。

※説明図詳細は折り方の一例です。ほかの折り方や手順でも品質に影響が出る方法でなければ審査減点対象になりません。

(3) 競技部材準備では各部材の数量確認と各部材のレイアウトを決めていただきます。

3. 注意点

(1) 競技の際は、必ず手袋を着用してください。※手袋は各自で準備すること。

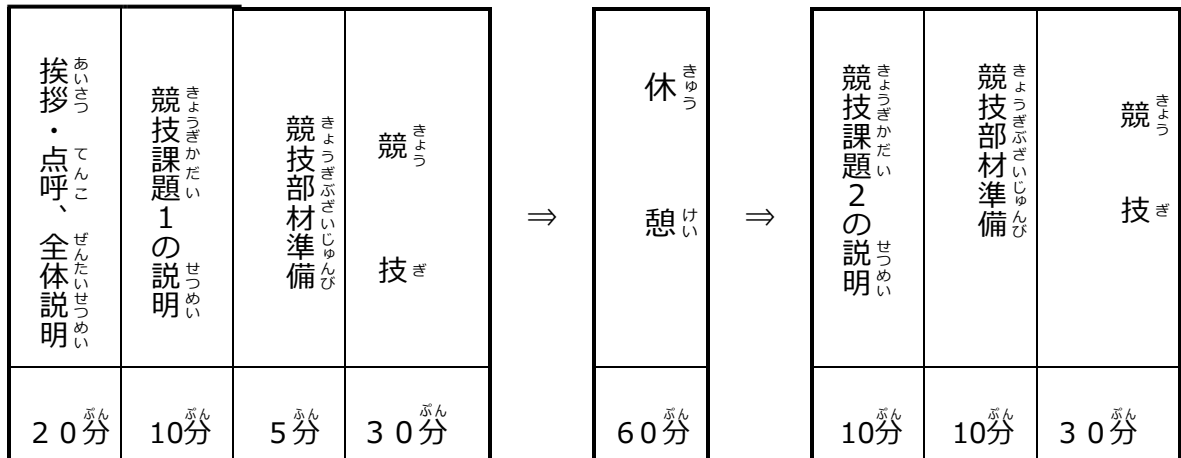
4. 実施時間

挨拶・点呼 全体説明：20分 各競技課題の説明：各10分×2

競技課題1：部材準備5分 競技30分 競技課題2：部材準備10分 競技30分

※当日競技の練習は行いません。

《競技の流れ》



競技の流れ

5. 審査競技のポイント

競技課題1 緩衝材の組立・結束

- ① 規定された数量を時間内で作成できたか。
- ② 製品の向きは正しいか。
 - ※ ○ (丸穴) ・ □ (四角穴) の向きが外側になっているか。
 - ※ 端の製品が向かい合わせになっているか。
 - ※ ○ (丸穴) ・ □ (四角穴) が5個ずつ混合せずに同一方向に揃えているか。
- ③ 正しく結束されているか。
 - ※ 8cm以内の結び目で、容易に解く事ができる結び方か。
 - ※ 緩衝材の端から10cm以内の位置に結束されているか。
 - ※ 紐を持ち上げたとき、紐と製品の間隔が5cm以内か。
- ④ 外観にシワ・ヤブレ・汚れ・凹みなどが無いか。

競技課題2 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包

- ① 規定された数量を時間内で作成できたか。
- ② 緩衝材・小箱・中箱・化粧箱の組み入れの向き・数量は課題通りか。
 - ※ 緩衝材の○ (丸穴) ・ □ (四角穴) の向きが外側に設置されているか。
 - ※ 緩衝材A・Bそれぞれ2個ずつ設置されているか。
 - ※ 化粧箱の向きが緩衝材A側に縦置き、緩衝材B側に横置きされているか。
 - ※ 化粧箱に入っている状態で中箱の蓋が上になっているか。
 - ※ 中箱を開けた時に、小箱の底部が見えないか。
 - ※ 小箱の中に商品が1個入っているか。
- ③ クラフトテープの止め方はきれいか。課題通りか。
- ④ 各箱の外観にシワ・ヤブレ・汚れ・凹みなどが無いか。
- ⑤ 完成品は敷紙の上に、はみださないように設置されているか。

6. 競技レイアウト

- ・ 机は計4台使用する
- ・ 材料の置き位置と作業エリアは自由



7. 会場に準備されているもの（1人選手当たりの材料支給）

	材料名	数量	単位	備考
まきょうぎようざいりょう 競技用材料	そとばこ 外箱	2	まい 枚	
	こばこ 小箱	8	まい 枚	
	なかばこ 中箱	8	まい 枚	
	けしょうばこ み 化粧箱 身	8	まい 枚	
	けしょうばこ ふた 化粧箱 蓋	8	まい 枚	
	かんしようざい 緩衝材 A	25	まい 枚	課題 2 での使用分は組立済を 配付
	かんしようざい 緩衝材 B	25	まい 枚	課題 2 での使用分は組立済を 配付
しざい 資材	けっそくひも 結束紐	1	まき 巻	
	くちばしカッター	1	ほん 本	
	ほうそうよう 包装用テープ	1	まき 巻	テープカッター付き
その他	せいひんしきがみ 製品敷紙	1	まい 枚	課題 2 で完成品を置きます
	ごみばこ (だんぼーる) ゴミ箱 (段ボール)	1	こ 個	

8. 選手が持参するもの

品名	数量	単位	備考
てぶくる手袋	2	双	やぶれたばあいを考慮し予備分1双を含む

9. 注意事項

① 服装について

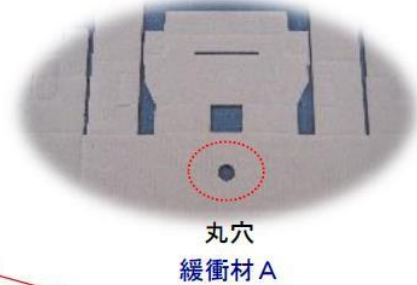
- 作業着または運動着が望ましい。スカートやフリルが付いているもの、短パンやスリッパ、サンダルなど作業に適さない服装は避けてください。指輪などの装飾品も避けてください。

② その他

- 熱中症対策として飲料を必ず持参してください。

きょうぎかだい かんしやうざい くみたて けつそく
【競技課題 1】緩衝材の組立・結束

てんかいざ
展開図



※緩衝材は2種類あります

だん すじ へこ お せん ほう うらめん うちがわ
※段ボールの筋、凹んだ折れ線がある方が裏面（内側）になります

かんせいざ
完成図



組立完成図

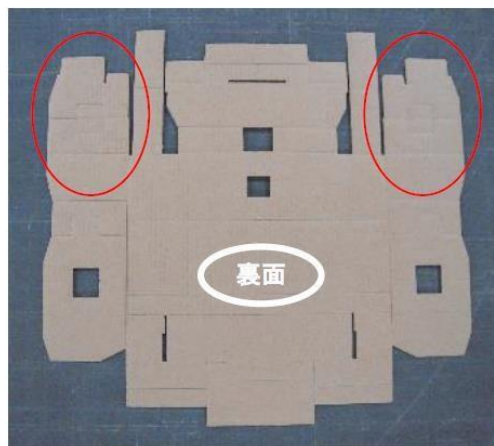


結束完成図

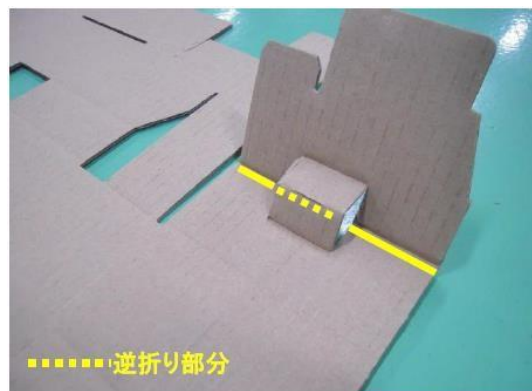
1. かんしやうざい しゆるい きほんてき お かた きやうつう (しゃしん かんしやうざい)
1. 緩衝材は2種類あるが、基本的な折り方は共通。(写真は緩衝材 B)

かんしょうざい うらめん うえ お
緩衝材の裏面を上にして折る。

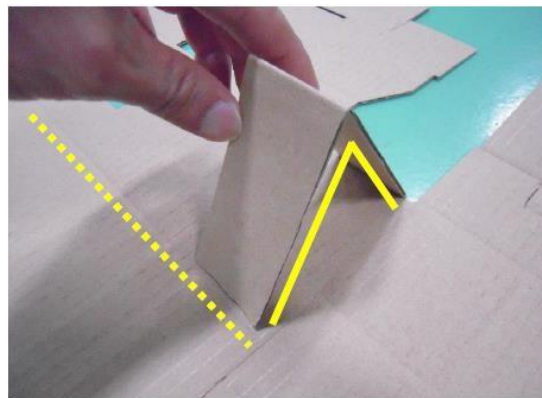
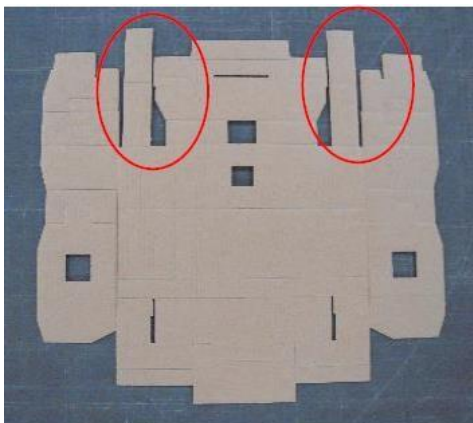
さいしよ しるしぶぶん かしよ お
最初に○印部分の箇所から折る。



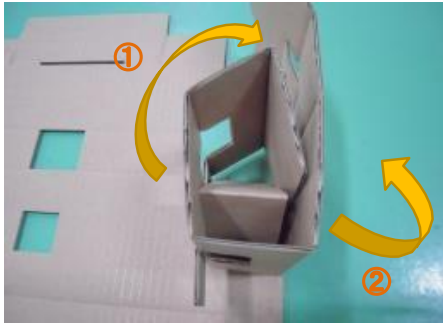
ほんたい そでぶぶん かしよ お め つ
2. 本体の袖部分2ヶ所に折り目を付ける。



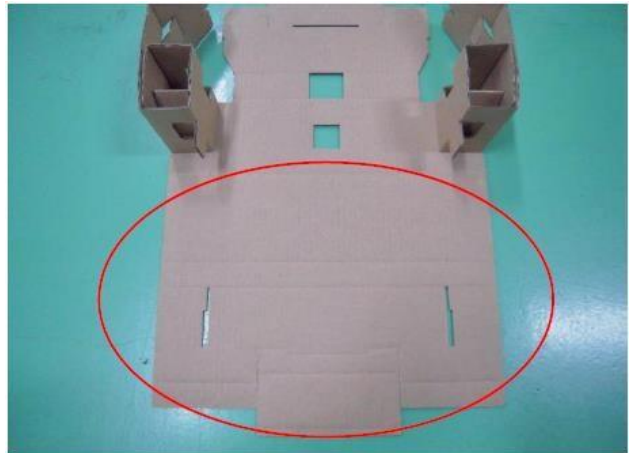
3. ○印部分を部分点線の罫線に合わせて折り込み三角をつくる。



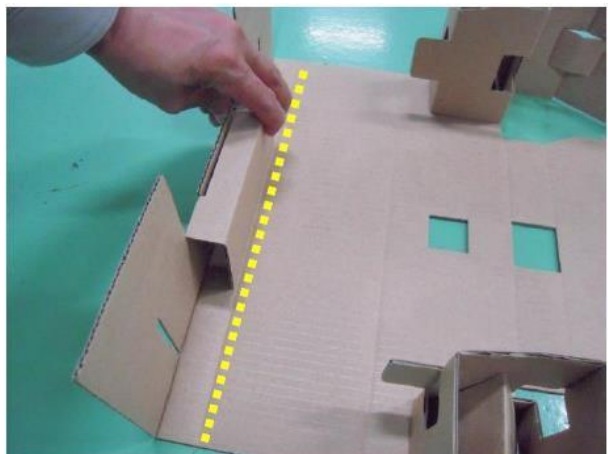
4. そでぶぶん た あ お さんかくぶぶん ま つ お こ
袖部分を立ち上げ、3で折った部分三角に巻き付けるように折り込む。



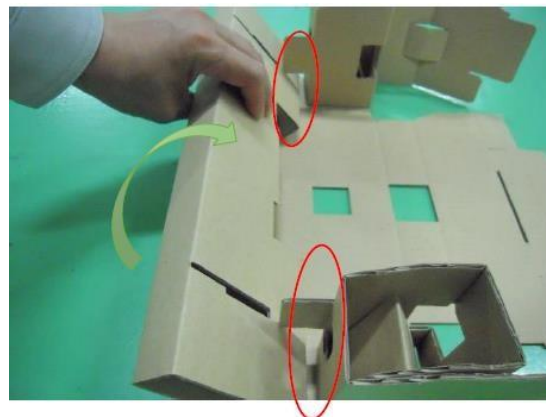
5. ○で囲んだ部分を折る。



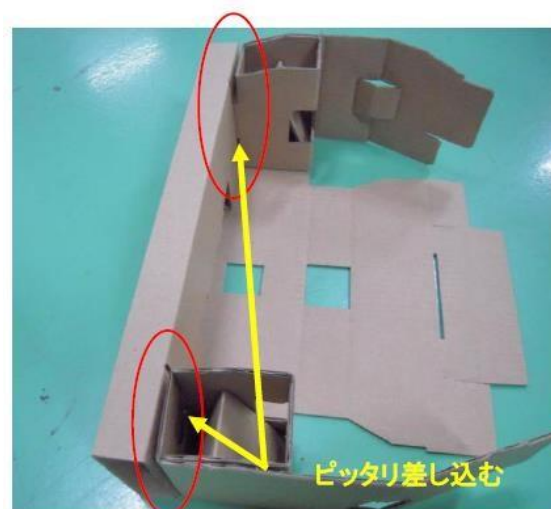
6. 中心部を点線部の罫線に合わせて折る。



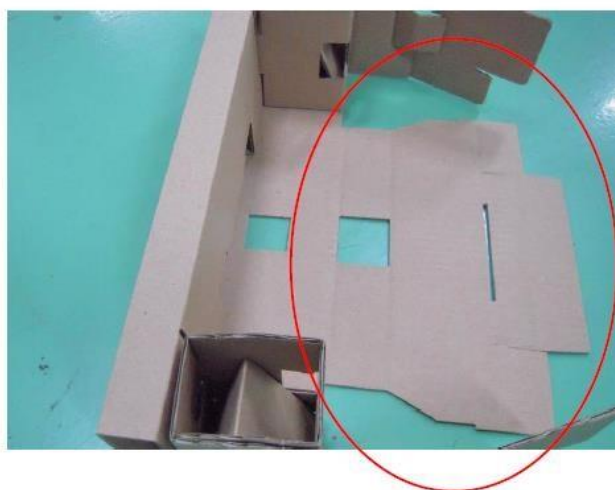
7. 両端先端部を折り込み、全体を方向矢印に立ち上げながら折り込む。

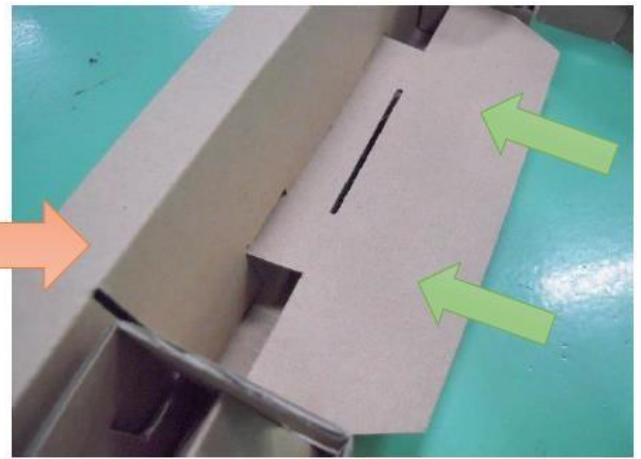


8. 印部分の穴に袖の凸部分を差し込みながら全体を立ち上げ折り込む。



9. 円で囲んだ部分を折る。10. 先端部3箇所を折りながら矢印方向に折り込む。

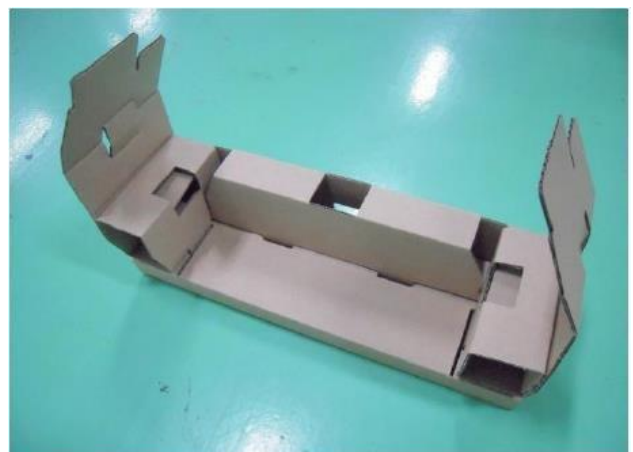




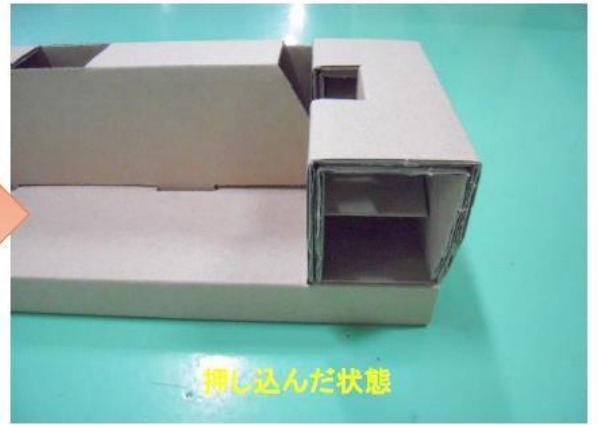
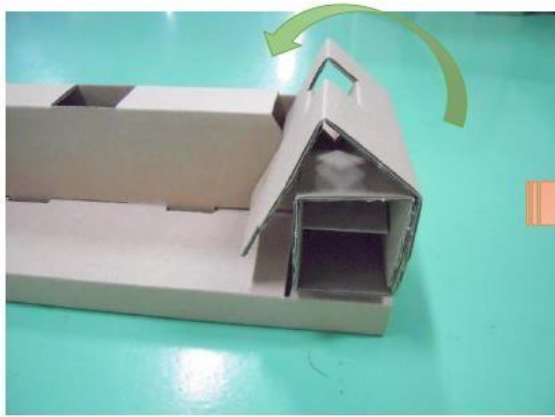
1 1. 全体を折りこみ、本体にピッタリと押し込む。



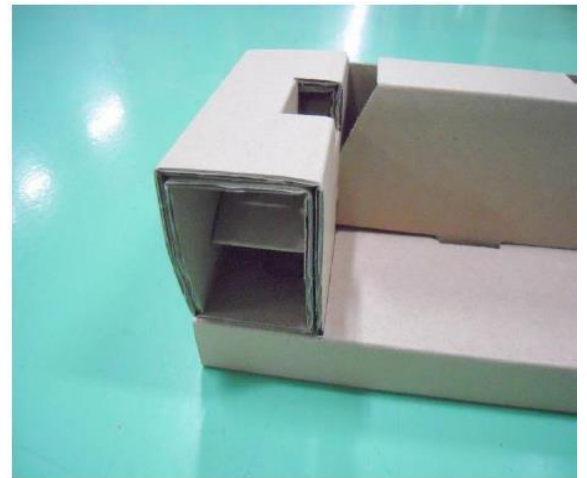
1 2. 袖部分が上にくるように向きを変える。



1 3. 袖部分を罫線に合わせて折り込み、先端部分を本体に差し込む。



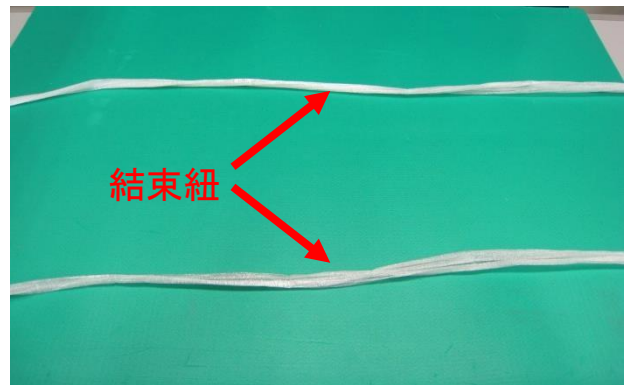
1 4. 反対側も同様に、本体に差し込む。



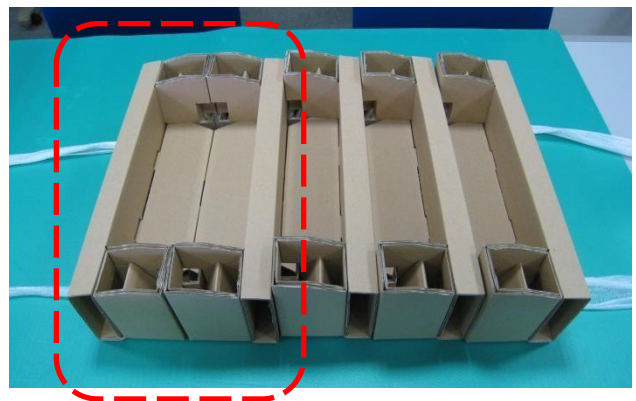
1 5. はじめに折った三角部分が正確に三角になっているか確認して完成。
これを緩衝材Aと緩衝材Bそれぞれ5個ずつ完成させる。



1 6. 作業台に紐結束を可能な限り直線に2本並べて置く。

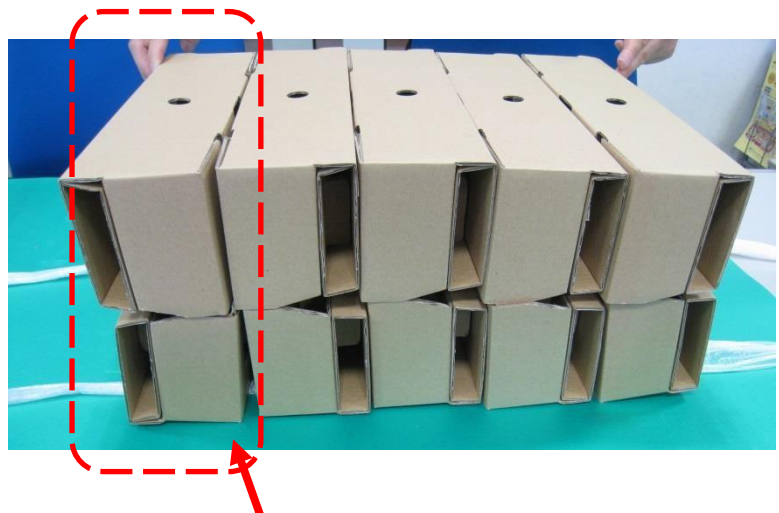


17. 設置した結束紐の上に緩衝材 B 5 個を、結束紐が端側位置にくるように置く。置く際は、四角穴が下にくるように置く。



注) 1つだけ向きが違うので注意

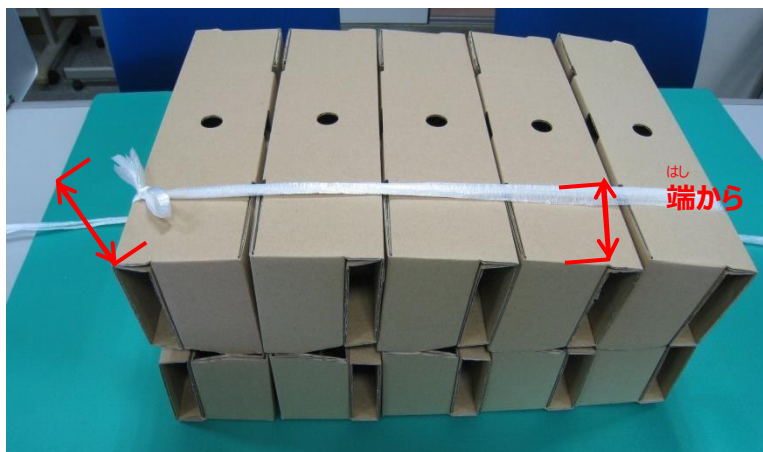
18. 17で置いた緩衝材 B の上に緩衝材 A を 5 個、丸穴が上にくるように置く。



注) 1つだけ向きが違うので注意

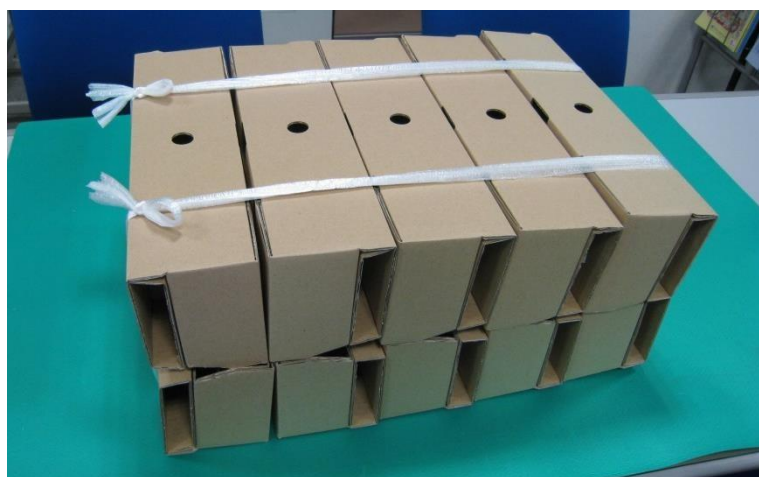
19. 緩衝材の端から 10 cm 以内の角で結束する。結び方は自由。ただし、8 cm 以内の結び目で容易に解くことが可能な結び方にする、長い場合はカッターで切る。
また、紐を持ち上げたとき、製品と紐の間隔が 5 cm 以内になるようにする。

むすびめ **10 cm以内**
8 cm以内



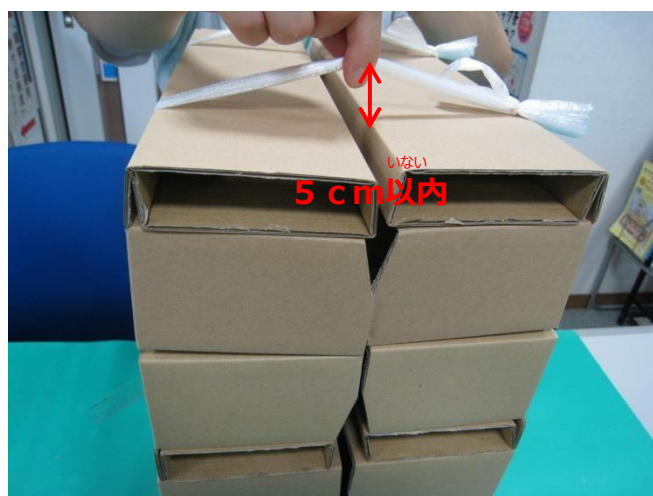
20. 反対側も同様に、結束紐を

緩衝材の端から10 cm以内のところを通し、箱の角で結束して完成。



21. 紐を持ち上げたとき、製品と紐の間隔が5 cm以内になっているか確認する。

※例として横に置いた状態での結束方法を紹介していますが、縦に置いた状態での結束でもOKです。



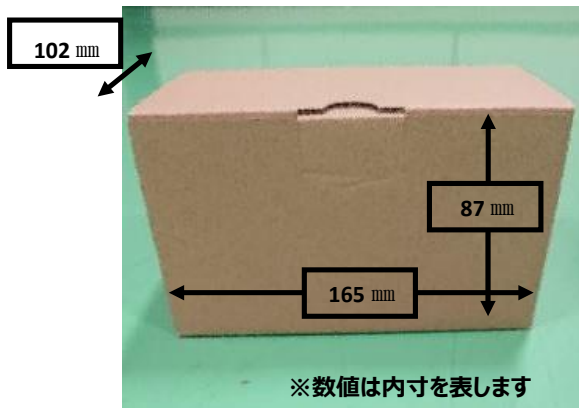
きょうぎかだい こぼこ なかぼこ けしやうぼこ そとぼこくみたて こんぼう
【競技課題2】小箱・中箱・化粧箱・外箱組立・セットアップ梱包（1）

こぼこてんかいす
小箱展開図

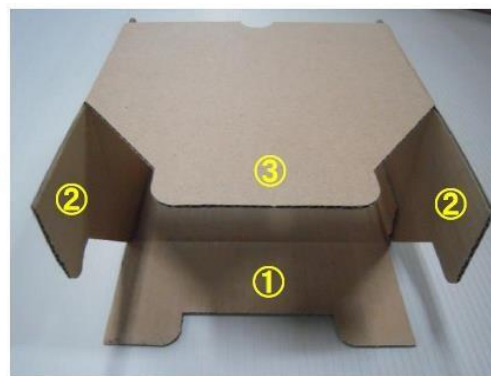
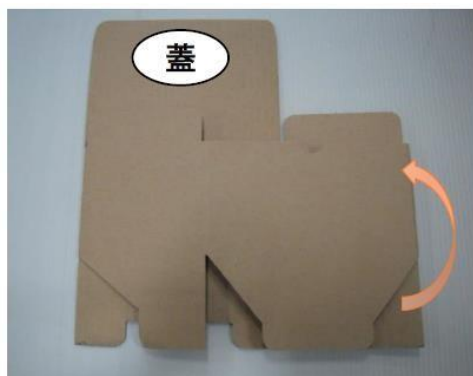


※罫線（折れ線）が見える方が裏面になります

しょうはこかんせいす
小箱完成図

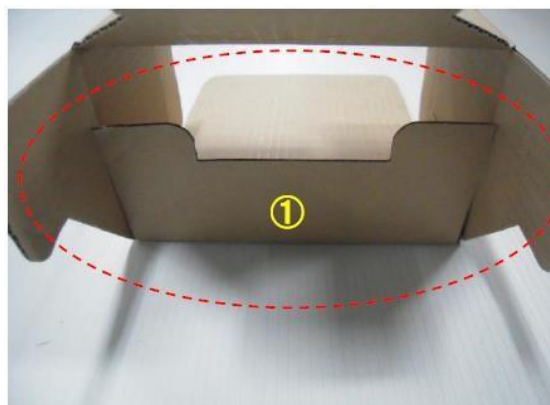


1. ふたした じやうたい ほんたい たあ
 1. 蓋を下にした状態で、本体を立ち上げる。



本体を立ち上げた状態

ふたがわそこ うちがわ お
 2. ①の蓋側底フラップを内側に折る。



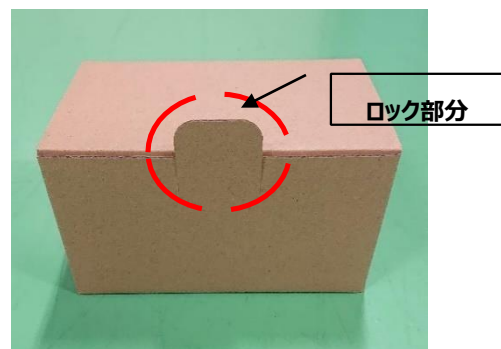
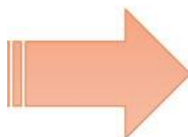
3. ②のフラップ2ヶ所を内側に折る。



4. ③のフラップを内側に押し込み、底部が完成。

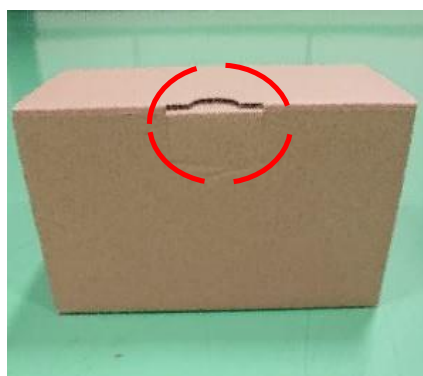


5. 底部を下にして、商品を箱の中に入れる。商品を入れた後、内フラップ2ヶ所を内側に折り蓋をする。

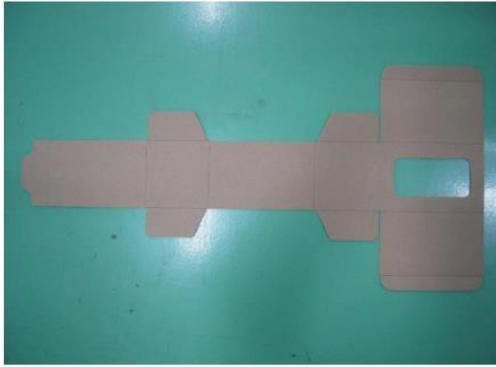


※商品の向きは審査対象外です

6. 最後にロック部分を挿入し完成。



なか はこ てん かい ず
中 箱 展 開 図

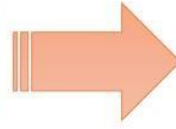
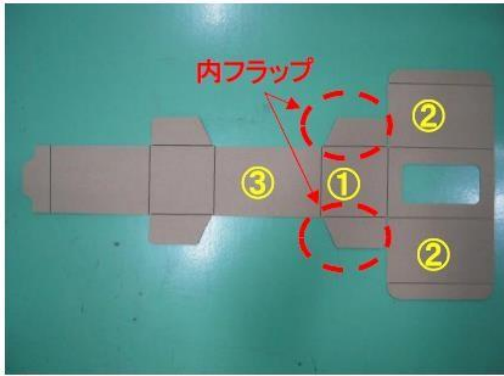


なか はこ かん せい ず
中 箱 完 成 図

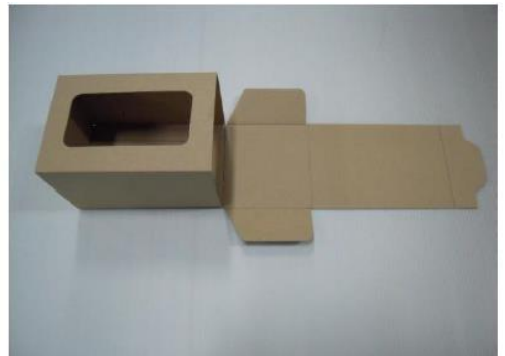
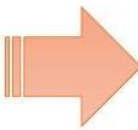


※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります
※競技材料はカットのみの材料です。そのため層取り作業が必要となります

6. ①の面を立ち上げ、内フラップ部分を内側に折り、その後、②の面を立ち上げ先端部分を内側に折る。



7. ③の部分を罫線(折れ線)に沿って折り、③の部分を下に向きを変える。



8. 中箱の中に小箱を写真のように入れる。

中箱の穴から小箱の底が見えないように小箱の向きに注意する。



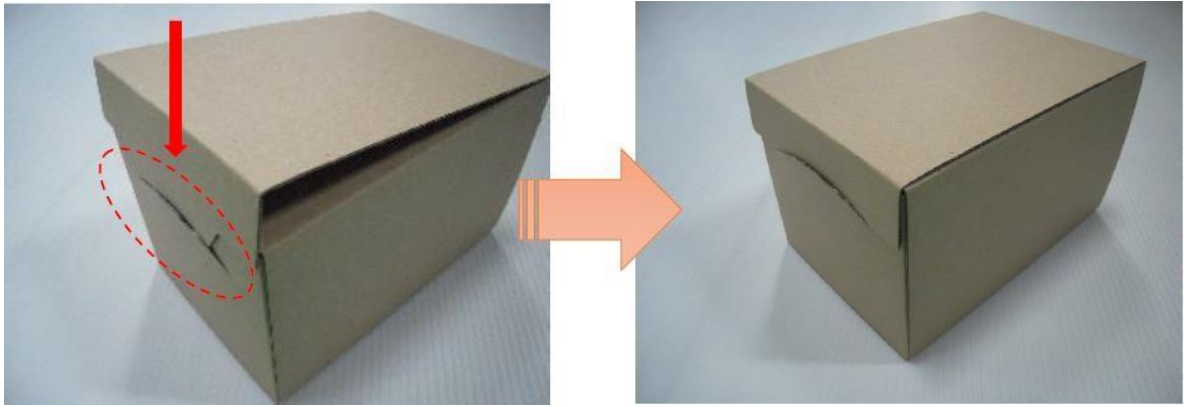
9. フラップ部分2ヶ所を内側に折り、本体の中に折り込む。



10. 中箱の天面を本体に向かって折る。



11. 最後に天面先端の差込み部を本体の切れ込み部に挿入して完成。

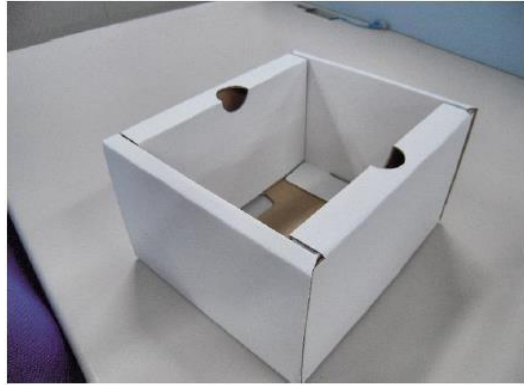


きょうぎかだい こぼこ なかぼこ けしやうぼこ そとぼこ くみたて こんぼう
【競技課題2】小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包（2）

け しやう ぼこ み てん かい ず
化粧箱身展開図

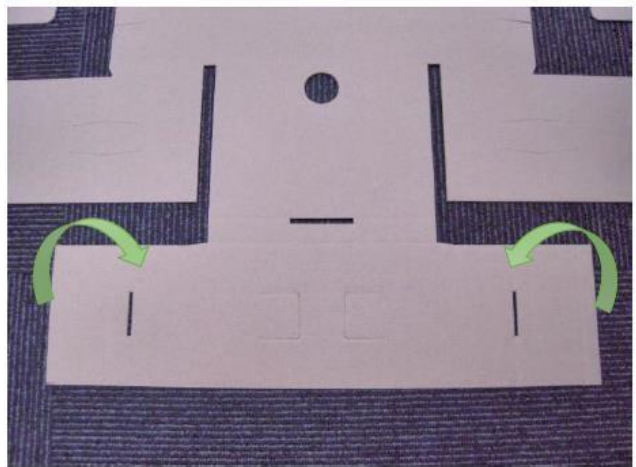
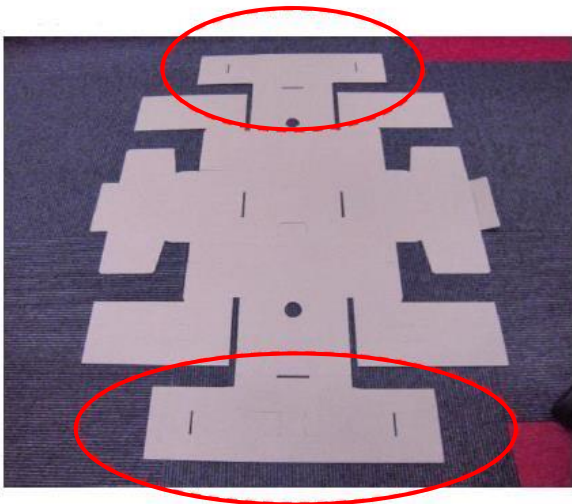


け しやう ぼこ み かん せい ず
化粧箱身完成図

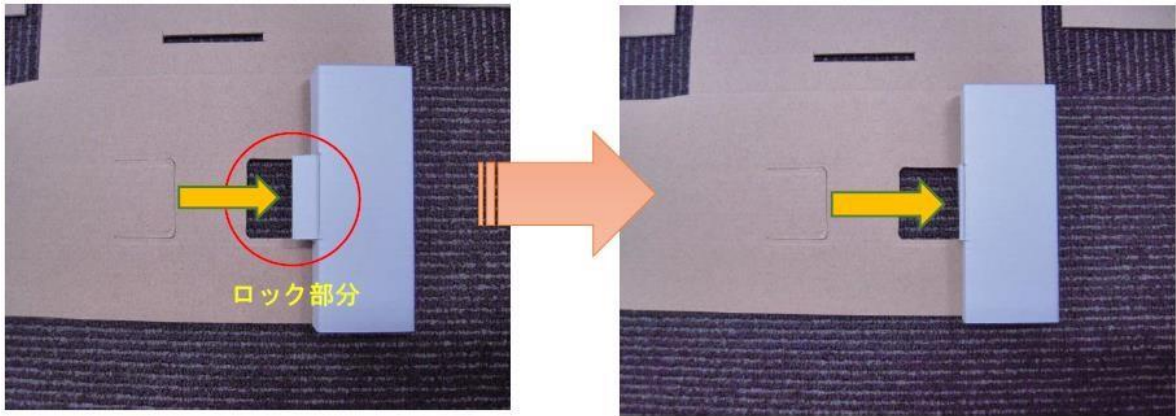


※罫線（折れ線）が見える方が裏面になります
 ※競技材料はカットのみの材料です。そのため層取り作業が必要となります

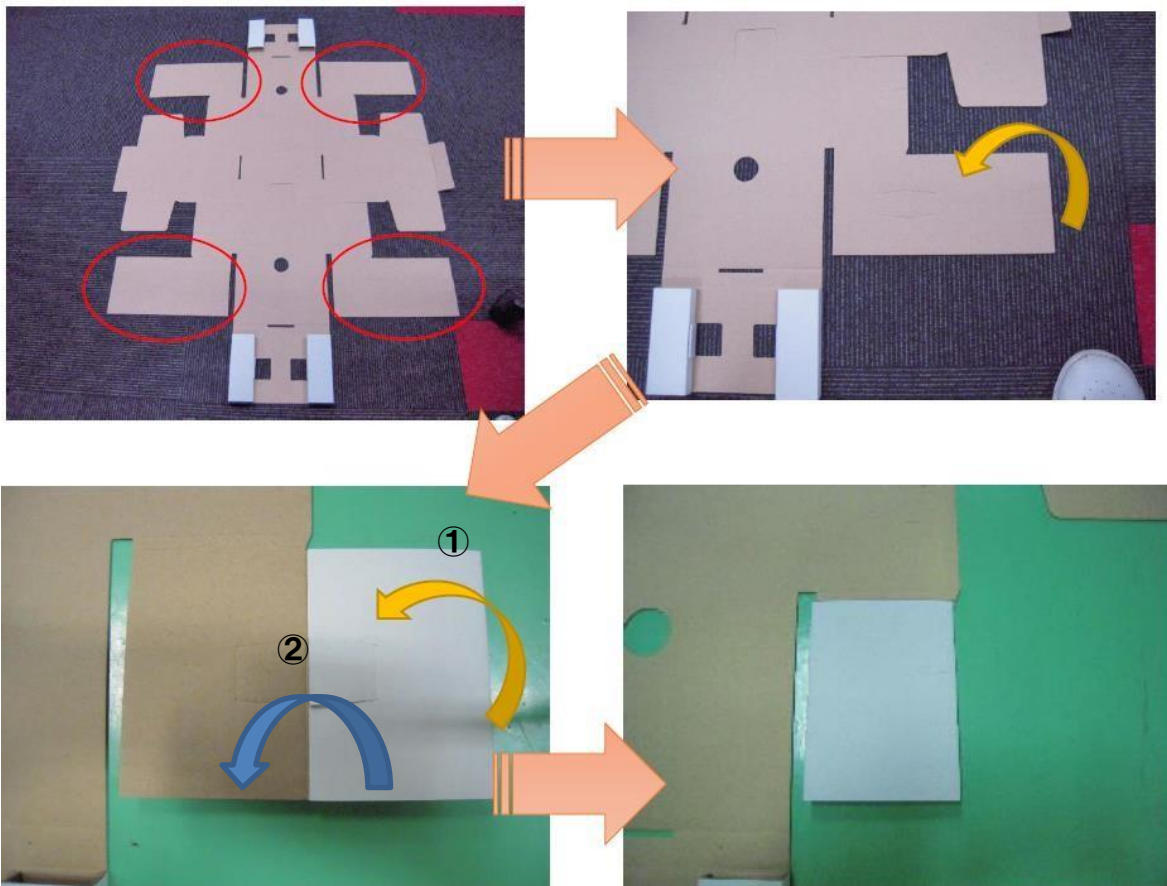
1. ○ 印部分 を折る。端の部分を内側に巻くように罫線を合わせて折る。



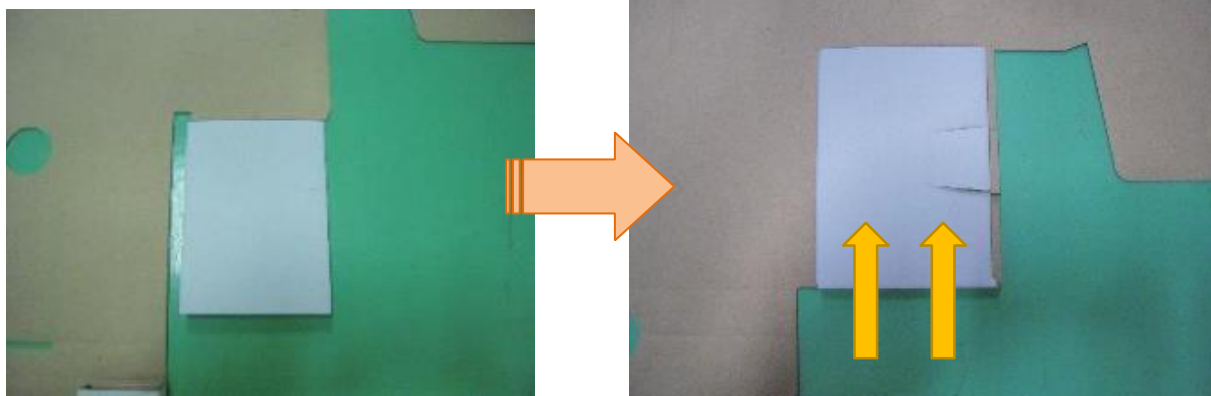
2. 折った部分の穴にロック部を下から立ち上げ差し込む。これを4ヶ所、同様に折る。



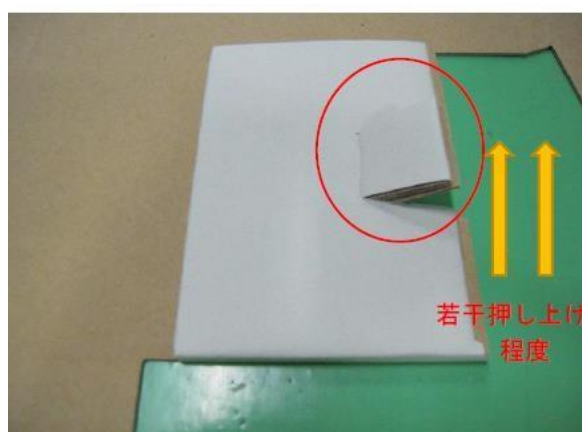
3. 〇印部分を端から線に合わせて内側に折る。



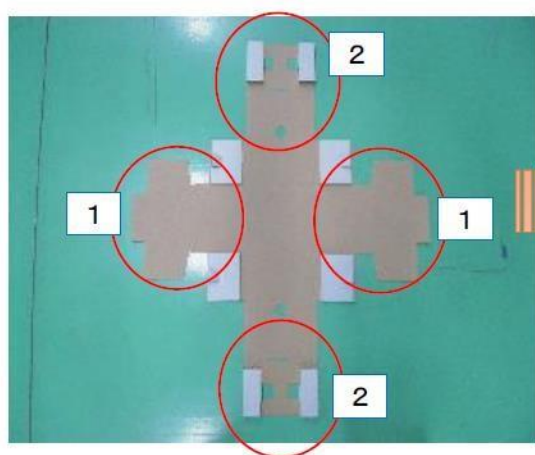
4. 本体中心に向かって罫線に合わせ折る。



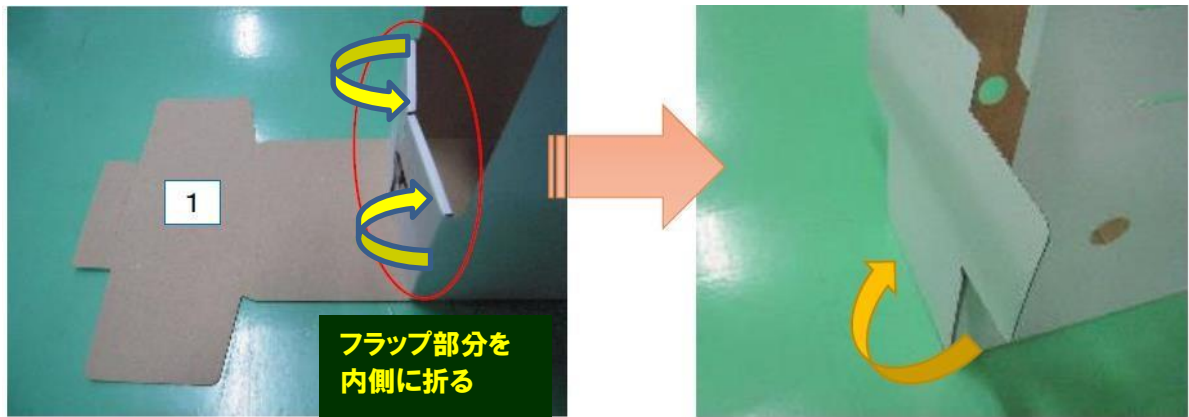
5. ロック部分^{ぶぶん}を下から押し上げ^{した}ロックする。これを各部、計4^お同様ヶ所に折る。^{かくぶ} ^{けい} ^{かしどうよう} ^お



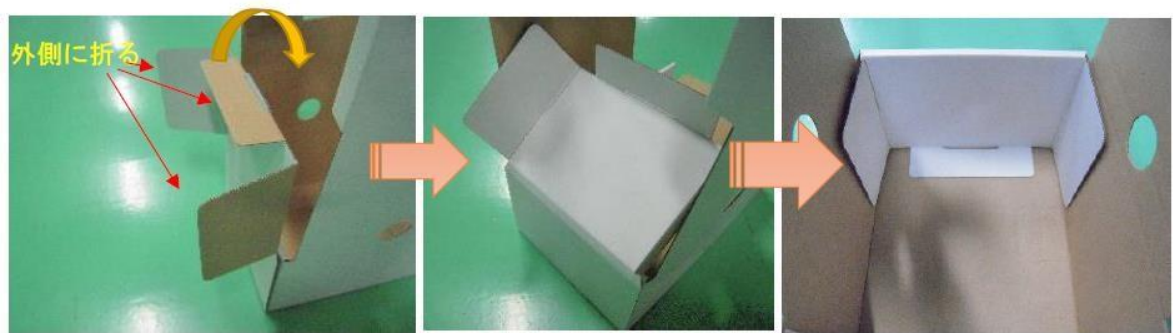
6. 2^{ぶぶん}の部分^たを立ち上げる。^あ



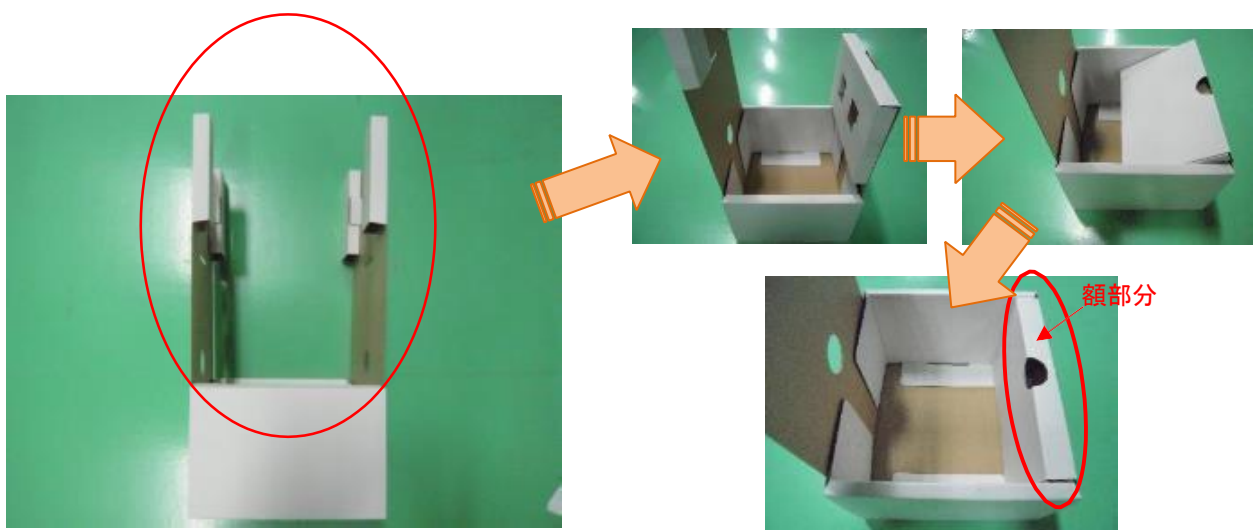
7. フラップ部分を内側に折り、**1**の部分を立ち上げる。



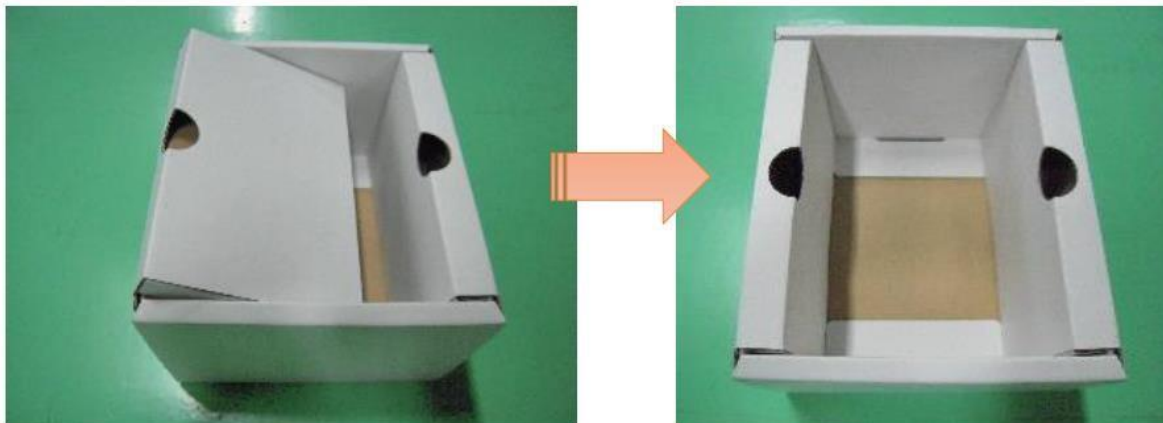
8. **1**の部分の先端を外側に3ヶ所折り、内側本体に折り込む。



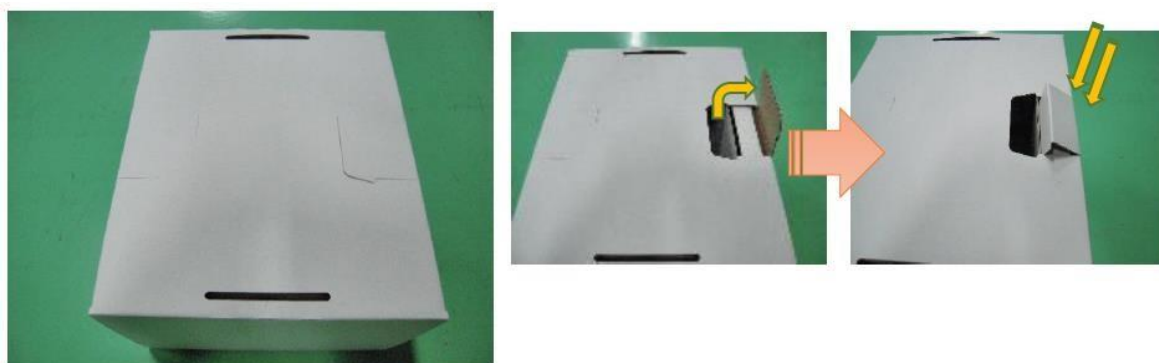
9. **2**の端の部分から線に合わせて折り、額の部分が平らになるまで中に折り込む。



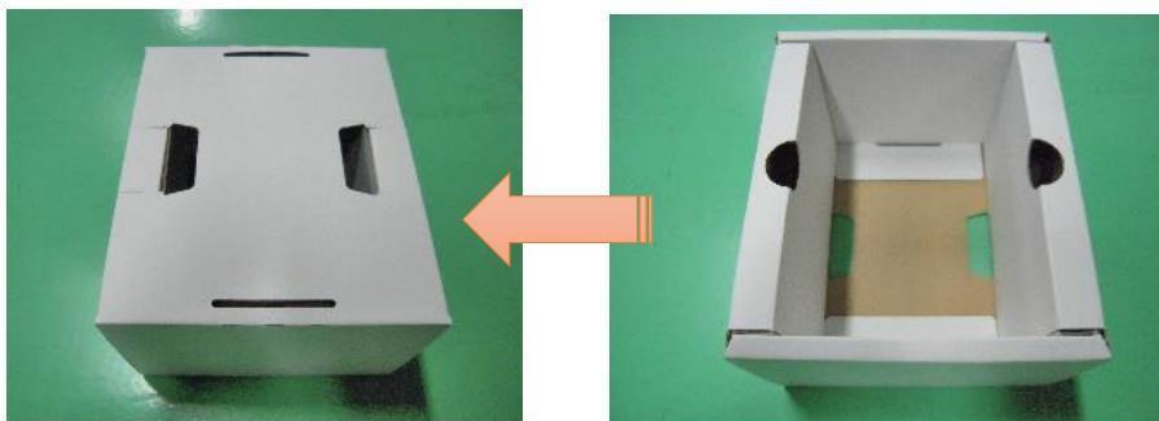
10. 反対側も同様に折る。



11. 裏（下）側を上にして、ロック部分を裏側から押し出し、2の穴に挿入する。反対側も同様に穴に挿入する。



12. 2ヶ所のロックができれば、底部を下に向きを変えて完成。



きょうぎかだい こぼこ なかぼこ けしやうぼこ そとぼこ くみたて こんぼう
【競技課題2】小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包（3）

け しやう ぼこ ふた てん かい ず
化粧箱蓋展開図

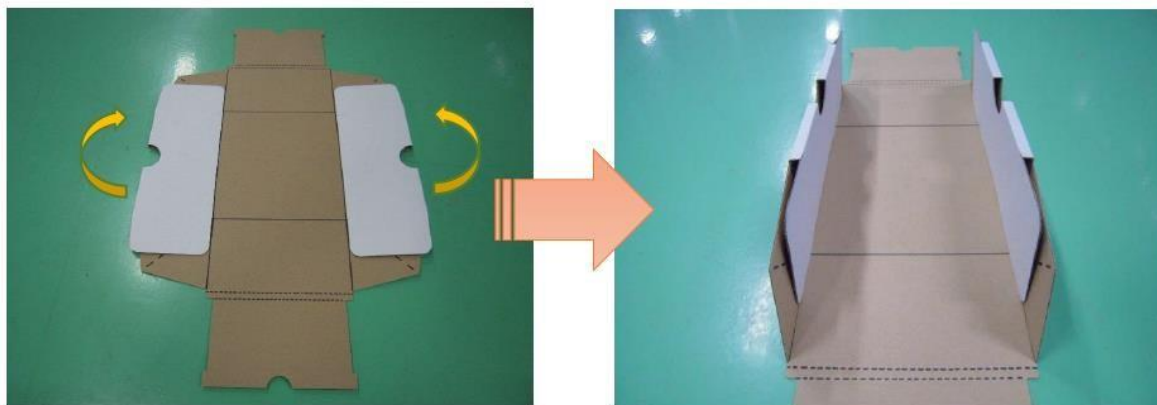


け しやう ぼこ ふた かん せい ず
化粧箱蓋完成図

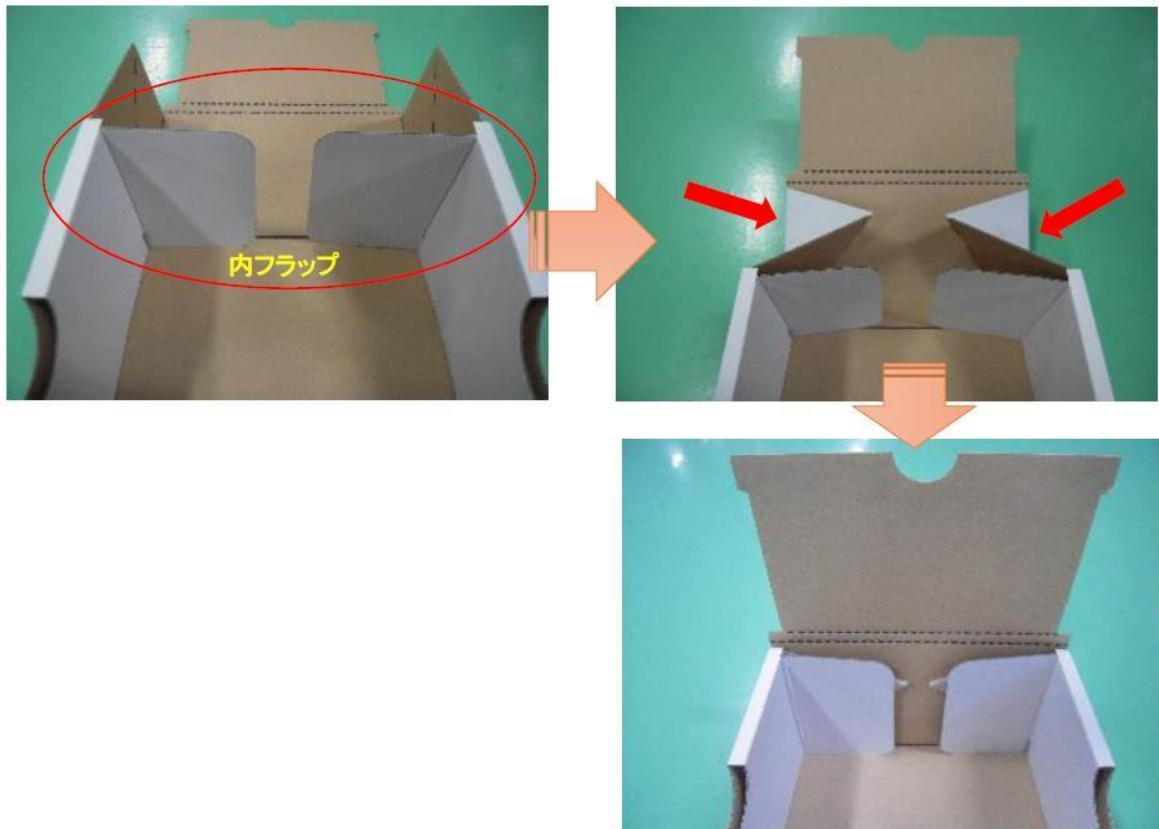


※罫線（折れ線）が見える方が裏面になります
 ※競技材料はカットのみの材料です。そのため屑取り作業が必要となります

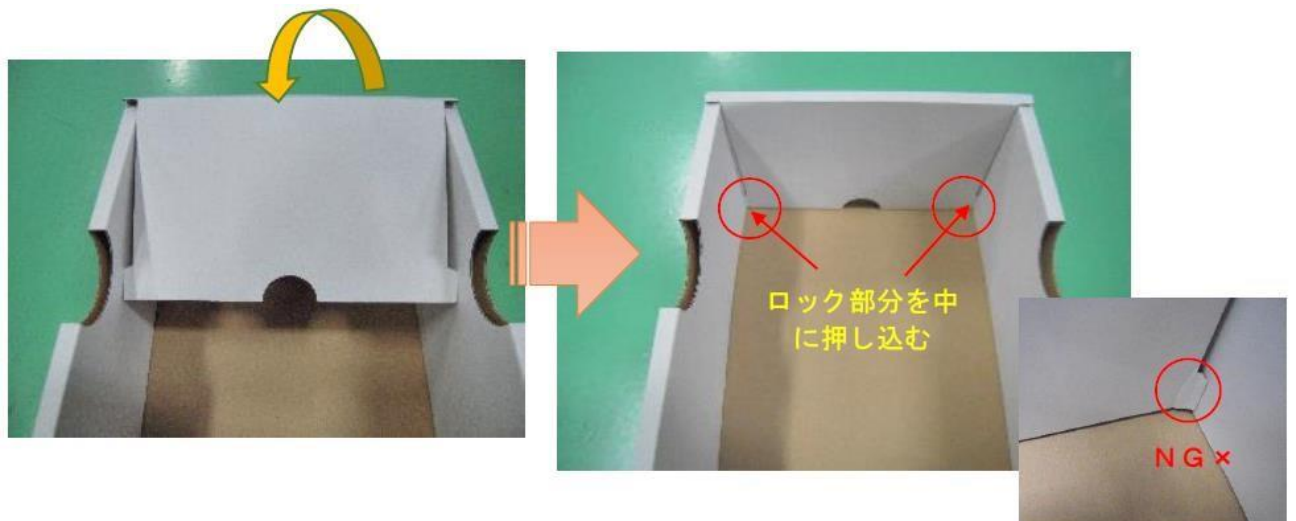
1. 額部分を折内側り、額部分全体を立ち上げる。



2. 内フラップを内側に折る。その後、外側フラップのミシン目を内側に折りながら、側面を立ち上げる。



3. 側面を内側に折り込み、ロック部分を中心に押し込む。

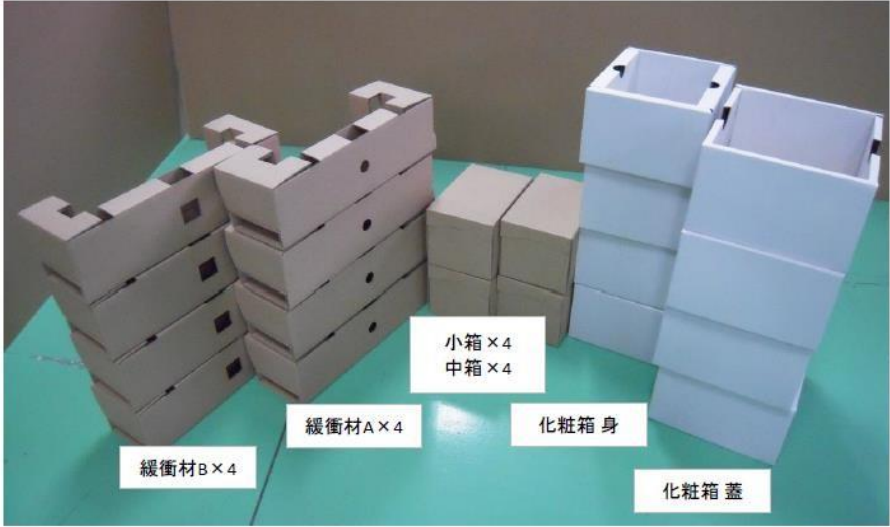


4. 反対側も同様に折り完成。
ほんたいがわ どうよう お かんせい



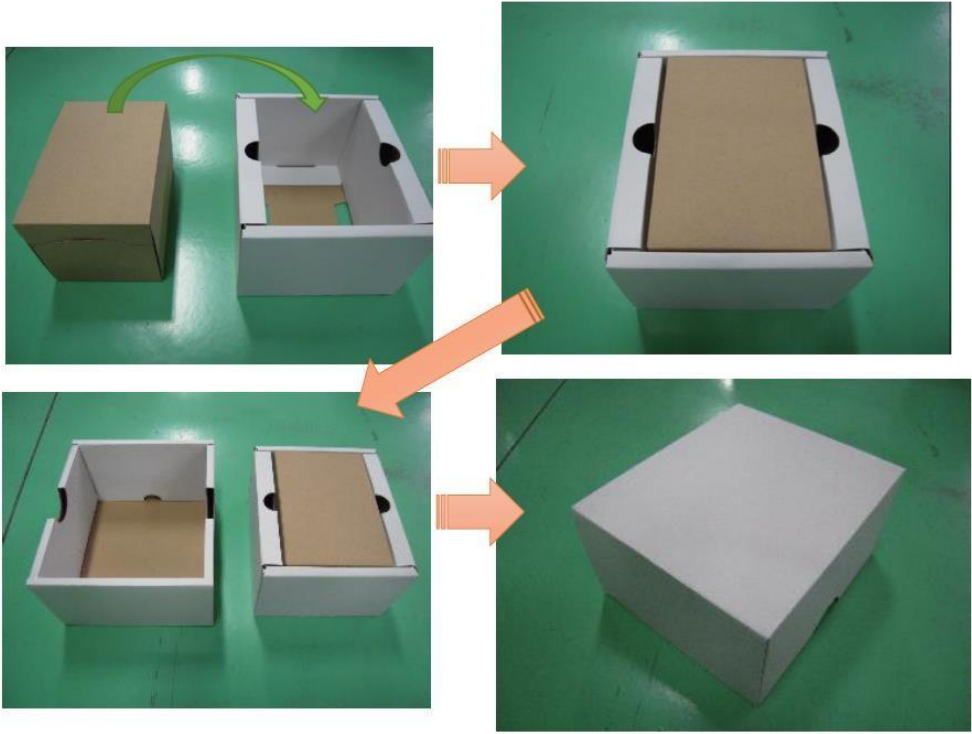
きょうぎかだい こぼこ なかぼこ けしやうぼこ そとぼこ くみたて こんぼう
【競技課題2】小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包（4）

こんぼう ぶ ひん いち らん
梱包部品一覧



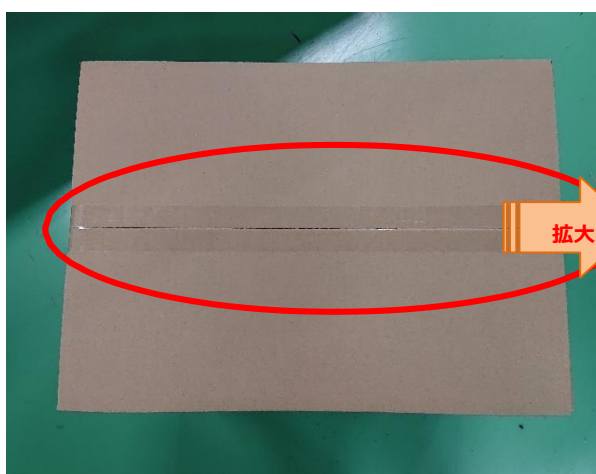
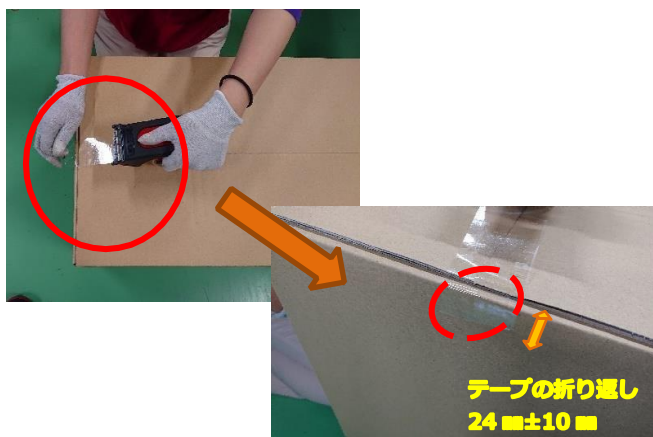
※上記部品を外箱にセットアップし梱包します

1. 化粧箱 身に小箱が入った中箱を入れ、蓋をする。これを2ケース作成する。



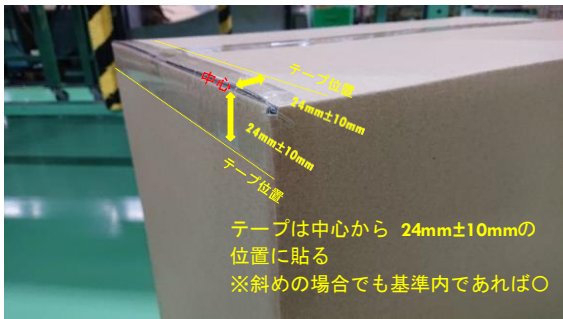
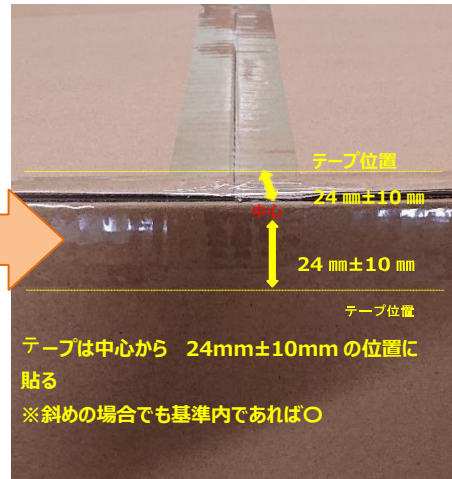
2. 外箱を組み立て底部を包装テープで貼り封をする。これを2ケース作成する。

①外箱の底部を組み立て、中央部を包装テープで貼り封をする。



②外箱の側面側を包装テープで貼る





3. 底部を封をした外箱の中に緩衝材を丸穴または穴四角が外側になるように各 2 個ずつ設置し、化粧箱を入れ



る。

4. 緩衝材底部と同じ緩衝材を向き合うようにそれぞれ設置する。



5. 外箱の上部を折り、敷紙の上に置く。

※上部はテープを貼りません

※実際は2箱です。⇒



※敷き紙は床に設置し、製品を置く際は製品が敷き紙からはみ出さないように置くこと

※敷き紙には製品以外の物を置くことはできません